

会 報

次代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会

＜第376号＞



発行日：平成29年 2月 1日

目次	◎ 創立70周年記念式典開催概要	・・・	1頁
	◎ 会員レポート 『鉄道博物館よもやま話』③		
	(株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏	・・・	2～4頁
	◎ 会員レポート 『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』(第8回)		
	神鋼不動産(株) 常任顧問 川端 宏幸氏	・・・	4～5頁
	◎ お知らせ	・・・	6頁
	◎ 広報コーナー 総合資格学院、兵庫県住宅再建共済制度	・・・	7～8頁
	◎ 創立70周年記念式典報告	・・・	別冊

創立70周年記念式典・演奏・祝賀会開催概要

開催日時 平成29年1月12日17時～20時
会 場 神戸三宮東急REIホテル

「兵庫県建築会」は、昭和22年3月15日に官民が協力して設立され、その後、会勢の伸張と共に公的性格を高めるため昭和46年5月20日に「社団法人」の認可を受け、そして平成25年4月1日には「一般社団法人兵庫県建築会」に改組して、平成29年3月に創立70周年を迎えることとなります。

このことを祝して、昨年10月13日には兵庫県立美術館館長をお招きして、兵庫県公館において「公館改修記念」との併催により創立70周年記念講演「建築がまちを変える」を開催(会報第373号により報告)するとともに、同10月27日には記念研修交流会(ゴルフコンペ)を開催してプレイベントを実施してまいりました。

そして、平成29年の新年早々の1月12日に、創立70周年記念式典を次のとおり開催しました。

式典には、井戸兵庫県知事、久元神戸市長及び関係団体のご来賓55名のご臨席をいただき、会員69名の出席により、会場は満席状態で盛会に執り行われました。

その詳細につきましては、別冊により報告をさせていただきます。



創立70周年記念式典の開会



創立70周年にあたっての兵庫県知事表彰

プログラム

- | | |
|--------|---------|
| 1 記念式典 | 2 記念演奏会 |
| 開 会 | チェロとギタ |
| 式 辞 | 一の調べ |
| 祝辞、表彰 | 3 記念祝賀会 |
| 70年の歩 | 開宴挨拶 |
| み報告 | 祝 辞 |
| 永年会員表彰 | 乾 杯 |
| 閉 式 | 懇 親 |
| | 謝 辞 |

会員寄稿
『鉄道博物館よもやま話』(第3回)
～愛称にまつわるエトセトラ～
(岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏)

前月号に続いて「列車の愛称」についてお届けします。

1964年開業の東海道新幹線「ひかり」も一般公募からである。古くは満鉄の特急列車のリバイバルであるが559,000通の中20,000通以上で1位に輝いた。「こだま」は10位だったが、東海道電車特急のパイオニアとして地位を築いたので採用された。



0系新幹線 21-86

応募にあった「疾風」も21世紀でこそ新幹線で堂々と採用されているが、昔は「疾風」は疫病にかかるとすぐ死んだことへの異称となっているということで国鉄のお気に召さなかったようだ。

「ひびき」も東海道在来線から昇格で新幹線の愛称候補にのぼっていたが、騒音問題に配慮して外された(余談だが漫才界では「大木こだまひかり」のひかりが外され、現在の「こだまひびき」に改称された。「こだま」を補完する役の「ひびき」。これが漫才界でも在来線でも本来の姿といえる)。また「いなづま」はどの時代の公募でも人気が高いのに採用されない。天災を連想させるからだろう。

また、雪に関連する名前も一般公募における応募者の多くが、豪雪地帯に暮らす人々のつらさがわからないと解釈され運行地域での理解が得られないため定期列車での採用は少数だが、スキー臨時列車採用例でポピュラーになった。

満鉄の列車には、ほかに「あかつき」・「のぞみ」・「大陸」・「興亜」・「あさひ」・「あじあ」・「はと」といった日本語による愛称が付けられていた。名称も新幹線に現存する名称が含まれるが、満州で唯一念願の広軌1435mmを実現させたわけであるか

ら、まさに新幹線の伏線といえる。



DD53-1 除雪車

国鉄時代の列車の愛称は、①一般公募によるもの。②地元の要望によるもの。そして③国鉄自身の命名。であった。

思えばJR継承後は「なんでもあり」。稀有だったカタカナ表記やタブーとされた人名までと、自由になったものだ。人名といっても沿線ゆかりの歴史上の人物が6～7例あるが、命名時点で存命する人名は「かいおう(力士)」のみである。

増えすぎて「くろしお」「ひたち」「わかしお」等のように、横文字の冠詞(バブル期以降流行った「スーパー〇〇」など)を外して元の愛称に先祖がえりしたものすらある(逆に「雷鳥」から「サンダーバード」に進化した例もあるが)。



クハ489-1

昼間優等列車の技術が開花すると、昼夜兼行の交直流電車特急が開発された。1967年登場の581系電車は「月光」型として親しまれたが、世界でも珍しい寝台電車であった。「月光」とは従来の寝台急行「海星」の格上げ名義である。2等寝台の居住性は当時、プラチナチケットとなる人気を誇った。1972年、新幹線岡山開業に伴い、「月光」は新大阪仕立てから岡山仕立てに。

従来の新大阪仕立ては「明星」とされた。本来、同一系統の類似列車には同一の愛称をつけるのが原則だが、下り「明星6号」と上り「明星5号」には、「なほ」が命名されたという異例の措置があ

った。沖縄に行かないのに「なは」？幼少期、不思議に思ったものだ。

1968年頃、沖縄復帰の機運が高まり、沖縄の新聞社から国鉄に持ち込まれた。

1975年、新幹線博多開業により山陽本線の昼行優等列車はすべて消滅、一夜にして一大ローカル線に転落してもなお、定期7往復の寝台特急の一員として、新大阪～西鹿兒島間に「なは」の名が残された。なぜか「なは」は特別扱いで、本家「明星」がダイヤ改正で本数を減らしていても「なは」が温存された経緯がある。

進行方向に就寝できベッド幅も当時としては広かったことで夜行として歓迎をされた581系だったが、昼行としてはシートピッチがいくら広くても、個人主義が当たり前になってきたこの時代にボックスシートで見知らぬ者との相席への批判は終生避けられなかった。



クハネ581-35

利用者や鉄道ファンの間で非公式に付けられたものが定着したものもある。たとえば、現在でこそ「ムーンライトながら」という正式な愛称があるものの、以前は特に愛称がつけられていなかった東海道本線・東京大垣間で運行する夜行普通列車は、「大垣夜行」と呼ばれていた。国鉄では指定席車両を連結したもの以外で定期の普通列車・快速列車に愛称を付けることは稀であったため、利用者が列車を指す際に便宜上用いたものが根付いたとみえる。同様に紀勢本線のそれは「太公望列車・新宮夜行」、中央本線のそれは「山男列車・上諏訪夜行」などと呼ばれていた。

余談だが、画像の梅小路保存車のスシ28食堂車（弁天町時代の初代館内食堂）を小生が説明した時に「寿司屋のスシではありません」と笑いを取ったが、「いや本当にビュッフェ車サハシ153に寿司屋があったんですよ」と言っても皆さん怪訝そうだったので、当時の様子（保育社「カラーブックス日本の鉄道」より出典）を載せておく。新幹線開業前の東京大阪間の急行移動は長旅だったので「せつつ」「よど」「なにわ」「いこま」「六甲」「やましろ」東海道6人衆と言われた急行のビュッ

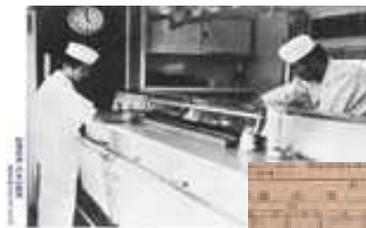
フェには寿司カウンターと職人が乗せられたが、そのうち職人と食材の確保が難しくなり、蕎麦屋に鞍替えした。つい最近まで当時の寿司職人が静岡清水で寿司屋を営み復刻メニューがファンに人気だったが、残念ながら閉店された。後年の山陽本線では、うどんビュッフェも存在した。



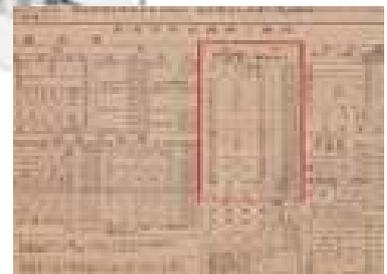
スシ28-301
食堂車内観及び車
両番号



何れも、新幹線東京博多全通前の遠い夢物語だ。新大阪で買った551蓬莱の豚饅頭を席で広げたにおいに、いちいちネット上で苦言を呈す世知辛い時代であるならば尚のこと、ビュッフェはもとより食堂車の復活を切に願う。「走る惣菜屋」と言われた100系新幹線X・V編成に存在した8号車1階カフェテリアのようなものでもあるとないでは全然違う。



サハシ153
寿司ビュッフェ内
観及びメニュー



これが私鉄（民鉄）となれば、国鉄JR同様、列車自体に愛称が付けられる場合も見受けられるが（例えば南海だと「サザン」「こうや」「ラピート」「りんかん」「天空」、列車ごとの愛称が存在しない場合、車両の愛称を用いて乗客へのアピールとしているケースもある。関西の各私鉄には殆どに愛称がつく。南海ズームカー、阪神ジェットカー、

阪急オートカー、京阪スーパーカーなど機能と愛称が合致したものが多いの私鉄の特徴である。



南海デラックスズームカー模型

阪神ジェットカー青胴車模型



首都圏では東京都営地下鉄のようにアルミリサイクルカーとか、京王帝都ステンプラカー等、素材を愛称にしたものもある。関西では山電アルミカーが第5回鉄道友の会ローレル賞を受賞している



併用軌道時代の大開通を走る山電アルミカー

海外に目を向けてみれば、フランスを代表する「ミストラル」や北米の「ゼファー」もわが国同様、定番の自然現象（風シリーズ）である。

ドイツにおけるかつての愛称のひとつに「嘆きの天使」なる映画タイトルから生まれたものが存在したが、わが国でいうと「踊り子」のようなものか。

イタリアを代表する「セッテベロ」の愛称は有名だが、由来はトランプの切り札から。わが国でも花札の絵柄にまつわる愛称もないことはない。

オーストリアでは列車の命名権の競売まで行われている。わが国でも路面電車などで車体全面広告は古くから存在するが、それとは明らかに意味が違い、愛称の持つ重みを考えればなんとも味気ないものである。

会員寄稿

『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』（第8回）

神鋼不動産（株） 常任顧問 川端 宏幸氏

前回に引き続き、アムステルダムのスポーレンブルグ島とボルネオ島の住宅をご紹介します。

アムステルダム（オランダ、74万人）

アイ川港湾地区全体の50%が公共所有、50%が個人所有とする計画調整のため、1992年に始まった第4期のボルネオ島とスポーレンブルグ島では、23haの開発地において、2,300戸のうち、30%を公共賃貸住宅、70%を分譲住宅とし、子どもを持つ家族向けに3階建ての高密度住宅を供給する方針をたてている。プロジェクトマネージャーとして、市の都市デザイン専門家であるトン・スカープムのもと、都市計画課、住宅課、港湾課等の代表からなるプロジェクトチームを構成し、開発側、施主側として、不動産会社、住宅・建設業界からなる「ニューディール」という連合企業体が結成された。



▲ 集合住宅「ホエール(鯨)」

スポーレンブルグ島のランドマーク的な建築である「ホエール(鯨)」は、194戸の住宅と1,100㎡のオフィススペースをもち、エリック・ファン・エヘラートが当初設計を担当したが、途中降板し、フリッツ・フェン・ドルヘンが引き継ぎ、2000年に完成した。屋根が傾いているのは、斜めに差し込む太陽光を少しでも多く取り入れるため、中庭には高木も植えられ、緑豊かな空間を形成している。

スポーレンブルグ島の中には、3階建ての集合住宅がびっしり建ち並んでいるが、その間を幅50m程度の緑地のオープンスペースが斜めに配置されている。また、東端の海に面する住戸では、ベ

ランダから突き出たガラス張りの部屋を設けるなど、斬新なデザインが見られる。



▲ スポーレンブルグ島内の緑地



▲ ベランダに部屋を突き出した住宅

スポーレンブルグ島とボルネオ島を結ぶ 2 本の橋は、アドリアーン・ヘウゼ設計の全長 93m の赤色の優美な曲線のトラス橋で、ユニークな形状の照明灯がついており、歩行者と自転車だけの通行が可能となっている。



▲ スポーレンブルグ島とボルネオ島を結ぶトラス橋

ボルネオ島も基本的には 3 階建ての集合住宅が建ち並んでいるが、シープスティンメルマン通りは、建物高さ 9.2m 以下、1 階の天井高 3.5m 以上とし玄関は通り側に設けること、運河側の窓は大きく開くことという一定のルールの下に、住人がフリープランの家を建設しており、個性的、独創的なファサードのまちなみが形成されている。そ

のうちの改装中のデザイナー所有のオフィス併用住宅を見学させていただいたが、屋上がガラス張りとなっており、地階から 3 階まで奥行き方向にそれぞれ 3 層のスキップフロア方式となっており、各フロアとも光が降りそそぎ、開放的な雰囲気となっている。半地階にあるオーナーのオフィスからは、直接マリーナに出ることができる。なお、土地については、大部分が市の所有で、50 年の定期借地となっている。



▲ 見学したオフィス併用住宅



▲ オーナーのオフィス

そのほかにもエイ湾周辺では臨海部の再開発が順次行われており、住宅、オフィス、商店、公共公益施設、アメニティ施設の整備が進められている。それらの計画の基本となる 2000 年に策定された都市計画マスタープランによると、都心部と周辺地域の両方において、短期的展望と長期的展望のもとに、行政、民間ディベロッパー、関係団体が計画段階から協議し、フレキシブルに計画と開発を実行することとしている。その 3 つのレイヤー（階層）は、①水と緑、②インフラストラクチャー、③ビジネスと居住の環境に加え、④人間的環境を唱えている。



▲ 海辺から見たフリープランの住宅群

お知らせ

◎ 行事案内

月例会をご案内中です。ご参加をよろしく
願います。

○ 平成29年2月月例会

日時 平成29年2月16日(木)
12時から14時

会場 西村屋和味旬彩

演題 『地域力で創る環境先導社会“豊かで
美しいひょうご”の実現』

講師 兵庫県農政環境部環境創造局
局長 遠藤 英二氏

(講師からいただいた講演の観点)

平成26年3月に策定した「第4次兵庫県環境
基本計画」では、「低炭素」「自然共生」「循環」「安全・
快適」の環境分野に、各主体が協働し、地域の特徴を
活かして取り組む「地域力」を加えた5本柱で、環境
保全・創造の取組を複合的・総合的に推進すること
としています。

「低炭素」では、パリ協定発効を踏まえた温室効果ガ
ス排出削減の取組、「自然共生」では農林業被害が問
題となっているシカ・イノシシ対策や、20年ぶりに
狩猟禁止を解除したツキノワグマ対策等、地球規模
から身近な問題まで、それぞれの課題と方向性を幅
広くご紹介します。

○ 平成29年3月月例会

日時 平成29年3月14日(火)
12時から14時

会場 神戸三宮東急REIホテル

テーマ 「旅行会社に明日はあるのか」

講師 神戸山手大学 現代社会学部
准教授 山本 健氏

(講師からいただいた講演の観点)

情報のグローバル化やLCCの台頭等で、一層旅
行への関心と需要が高まり今や、日本発の「海外旅
行商品」も、世界を網羅するぐらゐの品ぞろえであ
る。訪日観光客も、2020年には、4千万人を見
込み、成長戦略の柱の一つとしている。

一方、メディアでは連日、世界各国・地域での一
般市民を巻き込んだ、紛争やテロの惨劇報道が流
れ、平和産業の象徴でもある旅行業界にも大きな影
響を与えている。

また、国内では若者の旅行が、ライフスタイルや
価値観の変化等により減りつつあり、将来の需要牽
引層の旅行離れが対策課題となっている。

厳しい経済環境を色々経験した旅行業界。家族、
友人、職場の仲間たちとの喜びや楽しみが共有で
き、日々の生活の励みや、夢を創造してくれる「旅
行」をプロデュースするそんな業界の明日を、皆様
も一緒に考えてみていただけませんか？

◎ 事務局だより

○1月12日の記念式典では本当に多くの方々に
ご参加いただきありがとうございました。会場は満
席状態で窮屈な思いをされたこととお詫びします。
これ程の多くの方々に祝福をされ、さらに、知事、
市長、県市の幹部の皆様には行事や予算事務等でご
多忙の中を駆けつけていただき、心より感謝申し上
げます。

○久元神戸市長のお話にありましたが、今年は神戸
港開港150年を迎えることとなります。

開港は1868年1月1日、王政復古2日前との
ことですが、きっかけは1855年の網屋吉兵衛に
よる「船たて場」(ドッグ)の建設で、その後186
3年に勝海舟が將軍家茂の許可を得て神戸軍艦操
練所に活用したことに始まるようです。これに隣接
して諸藩の青年のための「神戸海軍塾」(現税関付
近)を設け、この塾頭が坂本龍馬となります。この
頃の神戸村の様子は司馬遼太郎の「竜馬がゆく」で
は、「兵庫は知っていますが神戸などは存じませぬ」
と船頭の言葉を借りて描写されています。そして海
舟が「この無名の浜こそ、将来、有数の港になるだ
ろう」とみて操練所を置いたとあります。勿論筆者
の創作部分もあるでしょうが、今日の神戸港の礎と
なったことは間違いありません。

神戸港のコンテナ貨物の取扱いが震災前に戻っ
たとの報道を聞きましたが、神戸、兵庫の経済にと
って心強い限りで、開港150年の祝賀に幸先のい
いスタートとなりました。記念事業が様々に展開さ
れるようので一緒に祝いたいと思います。操練
所や海舟、龍馬の縁の地探訪もこれを機にいかがで
しょう。

そして、来年は兵庫県が設置されて150年とな
ります。このことはおって報告したいと思います。
○平成29年は私どもにとってめでたい年明け
となりましたが、大相撲初場所では19年振りの
日本人横綱の誕生と、国民待望の大変めでたい出
来事です。千秋楽の結びをスポーツクラブの風呂
場で観戦していましたが、中はガラガラの昔々の
銭湯状況で、こらえて々それを確実にした勝利
に、一同「ウオーやった！」の雄叫びで、画面同
様に裸同士での喜び合いました。国技でありなが
ら、やっと、横綱の出身地に日本の地名が入るこ
とになります。

裸の勝負だけに怪我はつきもので、先の二人は
本当に残念でした。しかし、稀勢の里の体にはサ
ポーターや絆創膏が見受けられませんでした。
“無事之名馬”で勤めてもらいたいですね。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

1 級 ・ 2 級 建 築 士

願書代
0円

願書 取り寄せサービス
実施中!

毎年ご好評をいただいている、**無料の願書取り寄せサービス**。ご友人の分や、会社の分のお取りまとめ等も承ります。当学院が願書をお渡しするので、**入手し忘れ心配無用**。



新入・若手社員の皆さま向け

無料 ビスネスマナー研修

実施場所：神戸校・姫路校（訪問研修も承ります）

▶日時・内容・実施時間などご相談ください。

お申込み・ご相談は神戸校までお電話、またはメールにて送信ください

神戸校 tel.078-241-1711 mail.kohbe@shikaku.co.jp

QRコードでメールアドレス簡単入力



兵庫県 全国
合格者占有率



平成28年度 1級建築士 設計製図試験

兵庫県 合格者占有率

兵庫県合格者144名中、
当学院現役受講生78名

54.2%

平成24~28年度(過去5年累計) 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者占有率

合格者合計19,562名中、
当学院受講生10,636名

54.4%



※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※全国 都道府県合格者数は、(公)建築技術教育普及センター発表に基づきます。<平成28年12月15日現在>



総合資格学院

神戸校

兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラー神戸ビル 3F

TEL.078-241-1711

おかげさまで「1級建築士合格者数日本一」を達成し
続けています。これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院 学院長

岸 隆 司



スクールサイト → <http://www.shikaku.co.jp> 総合資格 検索

コーポレートサイト → <http://www.sogoshikaku.co.jp>

Facebook → 「総合資格 fb」で検索!

1級・2級 建築士 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 建築設備士 1級・2級建築施工管理技士 1級・2級土木施工管理技士 1級管工事施工管理技士 宅地建物取引士 インテリアコーディネーター

『兵庫県住宅再建共済制度』の詳細は次からご覧いただけます。
 兵庫県住宅再建共済基金HP → <http://phoenix.jutakusaiken.jp/>

フェニックス共済の概要

住宅再建共済制度

加入者	県内にお住まいの方
負担金	年額5,000円
対象	県内に存在する住宅
対象被害	地震、台風、水害等あらゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 全壊で購入・補修 600万円 全壊で半壊 200万円 大規模半壊で補修 100万円 半壊で補修 50万円 半壊以上で建築・購入・補修など必要に応じて 10万円 (使用済損額控除金)

家財再建共済制度

加入者	県内にお住まいの方
負担金	年額1,500円
対象	県内に存在する住宅にある家財
対象被害	地震、台風、水害等あらゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 全壊で購入・補修 50万円 大規模半壊で購入・補修 35万円 半壊で購入・補修 25万円 床上浸水で購入・補修 15万円

プラス

一部損壊特約

加入者	住宅再建共済制度加入者のうち高年齢者の方
負担金	年額500円 (住宅再建共済負担金に追加)
対象被害	地震、台風、水害等あらゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 一部損壊(損害割合10%以上20%未満)で建築・購入・補修した場合 25万円 一部損壊(損害割合10%以上20%未満)で建築・購入・補修した場合 10万円 (使用済損額控除金)

※ 県外での建築・購入の場合は12万円控除になります。

下記宛てにお話しください。
 この用紙に記入しFAXをお願いします。

(ご希望に即)
 加入したいので詳しく説明に来てほしい
 ()月()日()曜日()時頃
 申込み用プリントを送ってほしい()部
 (お名前) フリガナ
 〒(住所)〒
 TEL: (電話番号)
 FAX: (FAX)

兵庫県企業振興局防災企画推進課
 (公財)兵庫県住宅再建共済基金(コールセンター)
 ☎078-362-9400(平日9:00~17:00)
 FAX078-362-9405 フェニックス共済

～兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」～
兵庫県住宅再建共済制度
フェニックス共済

1 年5,000円で最大600万円
2 簡単な加入！迅速な給付！
3 他の保険・共済と関係なく加入・給付

県内にお住まいの方
家財再建共済制度
年額1,500円で
最大50万円の給付

※ 自然災害発生時の原価相当額で償還
 以上は住宅・家財の損害を対象

県外にお住まいの方
住宅再建共済制度
年額6,000円

※ 自然災害発生時の原価相当額で償還
 以上は住宅・家財の損害を対象

プラス

県内にお住まいの方
住宅再建共済制度
年額5,000円で
最大600万円の給付

※ 自然災害発生時の原価相当額で償還
 以上は住宅・家財の損害を対象

さらにワンコインで
追加加入できます！

※ 自然災害発生時の原価相当額で償還
 以上は住宅・家財の損害を対象

住宅再建共済制度に上乗せ加入でもっと安心！
セット加入で年額6,000円

※ 自然災害発生時の原価相当額で償還
 以上は住宅・家財の損害を対象

住宅再建共済制度(一部損壊特約)
年額500円で補修等に25万円の給付

※ 自然災害発生時の原価相当額で一部損壊
 (損害割合10%以上20%未満)の被害を対象

全壊	年額5,000円で最大600万円
半壊	年額5,000円で最大300万円
一部損壊	年額500円で補修等に25万円 (損害割合10%以上20%未満)

そうだ フェニックスがあった